

	牧師 山本護	司式 辻りち子	奏楽 山本恵美	※讃美歌は二番までうたいます
前 奏	黙想		祈 禱	
讃美歌	II-124 マリヤはあゆみぬ		讃美歌	119 羊はねむれり
祈 禱			献 金	
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠	547 いまささぐるそなえものを
聖 書	イザヤ書 7:13~14 マタイによる福音書 1:21~23		黙 禱	
讃美歌	114 あめなる神には		頌 栄	540 みめぐみあふるる
説 教	『インマヌエル／神の冒険』		祝 禱	後 奏

「〔見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。〕この名は、〔神は我々と共におられる〕という意味である(マタイ 1:23)。クリスマスの時期になると、この聖句からどれほど説教しただろう。クリスマスに限らず、折に触れてイエスという「キリスト(救い主)」を問う時、この御言葉に幾度となく還って信仰の足場を整えて来た。イエスの別名「インマヌエル」と表現された「神が我々と共におられる」現実、そのままイエス・キリストの生涯と十字架であった。

「神が共におられる」とはどういうことか。教会歴の「待降節／アドベント(Advent 英)」とは、ラテン語の「advento=徐々に迫って来る」という動詞に由来している。ここからあれこれ思い巡らせた。天の神が、いわば「advena(羅)=異国人・旅人」となって、私たちの地平にやって来られた。考えてみれば、全能の神が地上で人間になることは、実に危険な「adventure(英)=冒険」に他ならない。

神の子イエスは、地上で、人間の地平で、地位も特権もない普通の人間として、神の御心を率直に語り、その言葉通り御心を体現した。イエスの隅々が御心であったがために、世の仕組みと憎悪によって十字架にかけられた。まさに、唾然とするほど、徹底して、「インマヌエル」は神の冒険であった。なるほど神の冒険はそうだとすると、共に居てもらう側の人間にとっては、どういうことになるのか。

「インマヌエル／神が我々と共におられる(1:23)」この天使の言葉を聞いたのは誰だったか。ヨセフだ(1:20)。彼は当初、マリアの妊娠を知ると(1:18)そっと婚約解消しようとした(1:19)。傷つけられた自尊心で事を公にすればマリアは処刑されるが、ヨセフは「正しい人(1:19)」だったので忍従した。しかし彼がいかにか正しかろうとも、人間の正しさに過ぎない。ヨセフは素朴だが、大胆だった。「インマヌエル」という名を告げられると、安定した己が誠実な正しさをも、突破してしまう(1:24~25)。

神の冒険は、共にいる人間にも委ねられる。乳飲み子のインマヌエル(イエス)を抱えたマリアとヨセフは「advena=旅人」として冒険(adventure)することになる。着の身着のままエジプトへ逃亡し(2:14)、それから北方のガリラヤに移り住んだ(2:22)。こんな「神が共にいる」冒険を迷惑に思うか、未知の希望と見るか。開拓されて間もない八ヶ岳教会には、インマヌエルの冒険が未だ色濃く香っている。

「インマヌエル／神が共におられる」とは、神が共に居てくださるから安心、というだけではない。この名は冒険だ。ヨセフは天使から「恐れるな(1:20)」という言葉聞いた。この「恐れるな」という天使からの言葉、マリアも(ルカ 1:30)、羊飼いらも(2:10)聞き、未知なる冒険へと踏み込んだ。神は御自分の冒険に加わる者を求めている。濃淡はさまざまでも、光栄にもキリスト者はその一員なのだ。

「ダビデの家よ聞け～わたしの主が御自ら、あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ(イザヤ 7:13~14)」。預言者が強い口調で迫る相手はアハズ王(治世 BC734~728)。おとめとは「alma=若い女」の謂。では「男の子」とは誰のことか。旧約学の先生たちによれば確定できる定説はない。これにマタイ福音書は、一筋の光として答えを与えている。時と場を我々と共にされるために(マタイ 1:23)、神の御子は私たちの傍らにやって来た、と。

神がそのままだったら冒険にはなるまい なにしる全知全能だから だから庶民の一人になった
王子がお忍びで乞食になる程度ではない 徹底した冒険の最後は十字架 敗北なのか 勝利なのか

本日礼拝後トーンチャイムの練習あり。12/18(土)1:30~3:30 八ヶ岳メディカル・カフェ。次主日12/19は降誕祭礼拝で聖餐式あり(配餐方法を熟考中)。12/24(金)6:30 燭火礼拝(慎ましく)。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。